

平成24年度修士論文発表会プログラム

2月12日

[共生農業資源経済学セッション] 演題数：12

10:00 ～16:05、 S 31 講義室

コーディネータ：坂下 教授

10:00	～	10:25	農業経営学	山田 皓介	酪農経営における労働力調達と就業条件に関する研究 ー北海道大樹町を事例としてー
10:25	～	10:50	農業環境政策学	赤堀弘和	日本・中国・韓国間自由貿易協定締結の環境影響分析
10:50	～	11:15	協同組学1	池 成熟	韓国の農村型グリーン村事業におけるローカル・ガバナンス形成の課題ー日本の鹿追町バイオマスタウン事例との比較からー
11:15	～	11:40	協同組学2	小嶋 宏	遠軽家庭学校の足跡と新農村建設ー社名淵産業組合の事例ー
11:40	～	12:05	協同組学3	中野達之	韓国農協中央会の事業構造再編に関する研究 -農協中央会事業の子会社化・持株会社化を焦点に- 昼食(12:05～13:00)
13:00	～	13:25	協同組学4	李 雪蓮	中国朝鮮族の出稼ぎの影響による地域農業の変貌ー東北部を中心に
13:25	～	13:50	協同組学5	佐々木 泰裕	北海道の農協における人事管理制度と職員教育ーJAIいわみざわとJAきたみらいを事例に
13:50	～	14:15	食料農業市場学1	金子由里香	北海道における水稲種子生産供給構造に関する研究 休憩(14:15～14:25)
14:25	～	14:50	食料農業市場学2	長内一人	小麦トラストにおける国産小麦の流通経路の形成に関する考察
14:50	～	15:15	食料農業市場学3	山田正紀	養液栽培による野菜産地の形成過程ー東神楽町の温室組合を中心にー
15:15	～	15:40	水産経営経済学1	野村 歩	沖合底びき網漁業の経営改善と漁業管理 ー室蘭地区における経営改善の取組を事例としてー
15:40	～	:16:05	水産経営経済学2	陶山公彦	ブランドさんまの流通過程における評価とブランド形成要素に関する研究ー大黒さんまと青刀さんまの対比を中心にー

[作物生産生物学セッション] 演題数：9

09:00 ～12:00、 S 22 講義室

コーディネータ：近藤則夫 教授

9:00	～	9:20	作物生理学	数内 直美	ダイコンの抽だい制御機構に関する研究ー抽だい阻害物質の機能についてー
9:20	～	9:40	作物生理学	今村 麻紀	ダイズ内生ベプチドエリシターの機能解析
9:40	～	10:00	植物病理学	井上 紗葉瑠	リアルタイムPCRを利用したコムギ赤かび病抵抗性に関わるQTLの評価
10:00	～	10:20	植物病理学	西森 智	リアルタイムPCRによるコムギ条斑病菌の高感度特異的検出
10:20	～	10:40	植物病理学	森継 知	非病原性 <i>Cadophora gregata</i> によるダイズ落葉病の生物防除に関する研究
10:40	～	11:00	園芸学	陶 満	ロベリアの新規黄色花および橙色花作出の試み
11:00	～	11:20	園芸学	鈴木 絵理奈	夏秋どりイチゴ果実のポストハーベスト処理による品質の制御
11:20	～	11:40	園芸学	遠山 智之	アスパラガス貯蔵根におけるフルクタン組成季節変動のMALDI-TOF MSを用いた解析
11:40	～	12:00	園芸学	安原 里美	アスパラガスにおけるフラボノイド生合成遺伝子の単離および発現解析

[畜産科学セッション] 演題数：16

09:00 ～15:50、 S 21 講義室

コーディネータ：玖村 教授

9:00	～	9:20	家畜改良増殖学	加川 真二郎	ウシ胚盤胞期胚における <i>TEAD4</i> および <i>YAP</i> の発現動態に関する研究
9:20	～	9:40	家畜改良増殖学	佐藤 恒平	マウス体細胞クローン胚におけるDNAシトシンメチル化レベルの制御
9:40	～	10:00	家畜改良増殖学	馬狩 柚子	二母性マウスを用いた新規刷り込み遺伝子発現の検証
10:05	～	10:25	畜牧体系学	角谷 芳樹	泌乳牛の放牧主体飼養によって生産された牛乳中のミネラル含量に表れる土地由来ミネラルの検討 休憩(10:25～10:35)
10:35	～	10:55	家畜栄養学	新居 彦治	マメ外皮の持つプレバイオティック効果に関する研究
10:55	～	11:15	家畜栄養学	梅村 聡	ルーメン内 <i>Prevotella</i> 属細菌新規系統群の機能評価
11:15	～	11:35	家畜栄養学	加藤 泰基	代謝障害起因菌 <i>Streptococcus bovis</i> 種内多様性に関する研究
11:35	～	11:55	家畜栄養学	宮澤 のどか	カシューナッツ殻液給与と牛のメタン低減とリンクするルーメン菌群の特定 昼食(11:55～13:00)
13:00	～	13:20	副生物科学	高杉 成俊	ラット外皮における遺伝子発現リズムに対する制限給餌の影響
13:20	～	13:40	副生物科学	松村 尚紀	培養線維芽細胞における遺伝子の発現リズム
13:40	～	14:00	食品素材開発学	横井 洋征	ウシ後産細胞外マトリックスの細胞培養基質としての利用性
14:00	～	14:20	食品素材開発学	小林 美耶子	コラーゲン分解物が間葉系幹細胞に及ぼす影響
14:20	～	14:40	食品素材開発学	藤田 あさこ	ECM分解物が老化線維芽細胞に及ぼす影響 休憩(14:40～14:50)
14:50	～	15:10	食肉科学	奥村 好未	発色剤無添加食肉製品における亜鉛プロトポルフィリンIX結合タンパク質の探索
15:10	～	15:30	食肉科学	川添 穂高	酸の種類、pHおよび微生物が食肉製品中の亜鉛プロトポルフィリンIX形成に及ぼす影響
15:30	～	15:50	食肉科学	安川 裕也	筋原線維の太いフィラメントにおけるミオシン分子の動態

[生物生産工学セッション] 演題数： 7

09:40 ～12:00、 S 12 講義室

コーディネータ：柴田 教授

9:40	～	10:00	バイオマス生産制御学	小林 充	ヨトウガの性フェロモンに対する触角電位応答
10:00	～	10:20	食品総合技術監理学	氏家 崇久	低電界における通電加熱の殺菌効果
10:20	～	10:40	食品総合技術監理学	任 聡	近赤外光と可視光とを併用した米のアミロース含量の測定
10:40	～	11:00	ビークルロボティクス	李 鑫	Development of a real-time protein sensor mounted on a combine harvester
11:00	～	11:20	生物生産応用工学	川原 史識	ロボットコンバインのための自動排出システムに関する研究
11:20	～	11:40	農業循環工学	伊藤 拓司	発酵液循環方式による高温乾式メタン発酵
11:40	～	12:00	食品加工工学	延原 達也	バイオマスプラスチックフィルムの食品包装資材適性

〔生化学・微生物科学セッション〕 演題数： 1 9

09:00 ～17:00、 大講堂

コーディネータ：浅野行蔵 教授

		岡田 遼介	養分欠乏下で生育させた各種作物のイオノーム解析とモリブデン集積 Ryosuke OKADA Iomic analysis and molybdenum accumulation in different plant species grown under nutrient deficiency
9:00 ～ 9:20	微生物生理学	関口 萌子	融雪期におけるN ₂ O生成土壌細菌に関する生態学的研究 Moeko SEKIGUCHI Ecological research on the N ₂ O producing soil bacteria during freeze-thaw period
9:20 ～ 9:40	生物化学	岡田 遼介	養分欠乏下で生育させた各種作物のイオノーム解析とモリブデン集積 Ryosuke OKADA Iomic analysis and molybdenum accumulation in different plant species grown under nutrient deficiency
9:40 ～ 10:00	生物化学	姫野 奈美	イネ由来ツベロン酸グルコシドグリコシダーゼの基質認識機構の解析 Nami HIMENO Substrate recognition mechanism of rice tuberonic acid glucoside β -glucosidase
10:00 ～ 10:20	生物化学	羽村 健	<i>Ruminococcus albus</i> NE1株由来 cellobiose phosphorylase の構造と機能に関する研究 Ken HAMURA Structural and functional relationship of cellobiose phosphorylase from <i>Ruminococcus albus</i> NE1
10:20 ～ 10:40			休憩
10:40 ～ 11:00	微生物生理学	長野 弘幸	<i>Pseudomonas</i> sp. N99株由来D-erythro-3-hydroxyaspartate分解酵素の精製および一次構造決定 Hiroyuki NAGANI Purification and primary structure of D-erythro-3-hydroxyaspartate degrading enzyme from <i>Pseudomonas</i> sp. N99
11:00 ～ 11:20	生物化学	玉村 尚也	<i>Bacillus</i> sp. AAH-31 株由来耐熱性アルカリ α -アミラーゼの高機能化に関する研究 Naoya TAMAMUI Mutational analysis of the substrate binding site of an alkalophilic α -amylase, AmyL, from <i>Bacillus</i> sp. AAH-31
11:20 ～ 11:40	微生物新機能開発学	田中 智裕	効率的コロニー形成のための培養方法の改善 Tomohiro TANAH Improvement of culture methods for effective colony formation
11:40 ～ 12:00	応用菌学	田鹿 結	イネいもち病菌のDNA損傷シグナルトランスデューサー <i>p53BP1</i> の解析 Yui TASHIKA DNA damage signal transducer <i>p53BP1</i> , participates in the growth and pathogenicity of the rice blast fungus
			昼休み
13:00 ～ 13:20	根圏制御学	宮沢 直樹	感染の成功に寄与しうる寄生線虫由来のRNA分子に関する研究 Naoki MIYAZAWA A study on RNA molecules from parasitic nematodes that may contribute to infection success
13:20 ～ 13:40	応用菌学	竹内 紗央里	イネいもち病菌の非病原性遺伝子 <i>AVR-Pia</i> の突然変異機構の解明と非病原性タンパク質の局在解析 Saori TAKEUCHI Elucidation of mutational mechanism of avirulence gene <i>AVR-Pia</i> and localization of avirulence proteins of
13:40 ～ 14:00	植物栄養学	本田 希未	フマル酸が <i>Bacteroides fragilis</i> の胆汁酸変換に及ぼす影響 Nozomi HONDA Effect of fumarate on bile acid transformation in <i>Bacteroides fragilis</i>
14:00 ～ 14:20	微生物新機能開発学	下村 義典	メタン集積培養におけるメタン酸化菌とメタノール資化性菌の共生関係 Yoshinori SHIMO The relationship between methanotrophs and methylotrophs in methane enrichment culture
14:20 ～ 14:40	生物化学	阪本 安希	<i>Ruminococcus albus</i> NE1 株由来 β -1,4-マンナーゼの同定および酵素化学的諸性質の解析 Aki SAKAMOTO Identification and characterization of β -1,4-mannanase from <i>Ruminococcus albus</i> NE1
14:40 ～ 15:00	微生物新機能開発学	呉屋 恵里	高濃度セシウム耐性微生物の集積培養と純粋分離 Eri GOYA Enrichment and isolation of microorganisms with tolerance to high concentration of cesium
15:00 ～ 15:20			休憩
15:20 ～ 15:40	植物栄養学	藤澤 奈津子	シロイヌナズナのストレス応答性膜タンパク質MP210の機能解明 Natsuko FUJISA Functional analysis of Arabidopsis MP210, a stress-inducible membrane protein
15:40 ～ 16:00	根圏制御学	中野 智陽	植物細胞の核分裂促進活性を保持する <i>Meloidogyne hapla</i> 由来の分泌物画分に関する研究 Chiharu NAKANAKA A study on <i>Meloidogyne hapla</i> secretion fractions that promote karyokinesis in plant cells
16:00 ～ 16:20	応用菌学	大谷 翠	<i>Klebsiella pneumoniae</i> 9-3B由来のフィチン酸からイノシトールを生成するフィターゼに関する研究 Midori OHTANI Studies on <i>Klebsiella pneumoniae</i> 9-3B phytase which liberate myo-inositol from phytic acid
16:20 ～ 16:40	応用菌学	伊藤 由美	<i>Fusarium</i> . sp AHU9794由来酵素を利用したCaCCO法前処理稲わらの効率的糖化 Yumi ITO Effective saccharification of CaCCO-pretreated rice straw using enzymes from <i>Fusarium</i> . sp AHU9794
16:40 ～ 17:00	微生物生理学	荒井 博紀	大腸菌の呼吸鎖変化による糖代謝変化に関する研究 Hironori ARAI Alterations of glucose metabolism in <i>Escherichia coli</i> mutants defective in respiratory-chain enzymes

〔地域環境学セッション〕 演題数： 9

13:00 ～16:30、 N 21 講義室

コーディネータ：石黒 教授

13:00 ～ 13:05			講座主任挨拶
13:05 ～ 13:25	土壌学	岸本 紘乃	北海道新ひだかの採草地及びコーン畑におけるN ₂ O放出の制御要因
13:25 ～ 13:45	土壌学	柄崎仁志	異なる硝酸濃度・温度・水分条件が脱窒速度およびN ₂ O/(N ₂ O+N ₂)比に与える影響
13:45 ～ 14:05	土地改良学	呉 姐	汚水浄化のための伏流式人工湿地におけるリンの除去と回収
14:05 ～ 14:25	土地改良学	及川 拓	乾燥地における地下水資源の農業利用に関する研究
			休憩 (14:25～14:40)
14:40 ～ 15:00	土地改良学	岡崎宏軌	農業農村基盤整備事業が河跡湖の水質環境に及ぼす影響
15:00 ～ 15:20	土地改良学	櫻木宏明	ハイブリッド伏流式人工湿地による点源・面源負荷対策
15:20 ～ 15:40	土地改良学	武地遼平	泥炭湿地における流路を通じた水と物質の流出について
15:40 ～ 16:00	生物環境物理学	岩間裕樹	自然氷の冷熱を利用した農産物貯蔵庫の構造と効率に関する研究
16:00 ～ 16:20	土壌保全学	臼井朗	飼料作物の収量規程要因の解明とその対策に関する研究
16:20 ～ 16:30			講座主任総括

〔食品科学セッション〕 演題数： 1 1

10:00 ～14:40、 N 11 講義室

コーディネータ：川端 教授

10:00 ～ 10:20	食品機能化学	伊秩誠志	東南アジア産植物由来テストステロン 5 α -リダクターゼ阻害物質の探索
10:20 ～ 10:40	食品機能化学	飛鏑亮吾	アグリコン結合様式が異なるフラボノイドネオヘスペリドシドの合成とインスリン様活性
10:40 ～ 11:00	生命科学院	大神 遼	<i>Candida albicans</i> 定着マウスにおける腸管免疫系の解析
11:00 ～ 11:20	生命科学院	横山恭子	<i>Lactobacillus plantarum</i> No.14 株が脂肪組織炎症に与える影響
11:20 ～ 11:40	生命科学院	渡部夏林	プレバイオティクス摂取マウスの腸管免疫系の解析
11:40 ～ 12:00	生命科学院	渡部沙織	冬眠シリアンハムスターにおける免疫機構
			昼食 (12:00～13:00)
13:00 ～ 13:20	食品栄養学	安藤 翠	ラット腹腔渗出細胞の免疫応答調節における垂鉛の寄与
13:20 ～ 13:40	食品栄養学	山岸晋也	腸管関連リンパ液採取法の検討とその構成成分の脂質吸収に伴う経時的解析
13:40 ～ 14:00	食品健康科学	井邊宗一郎	難消化性環状糖質が消化管タイトジャンクション透過性に与える影響の解明
14:00 ～ 14:20	食品健康科学	河崎さほり	ロイシンとアルギニンによる膵臓タンパク質翻訳開始の促進作用とその機構解明
14:20 ～ 14:40	食品健康科学	樋口謹行	食品ペプチドのラット経口投与によるインクレチン分泌を介した血糖上昇抑制

平成24年度修士論文発表会プログラム

2月13日

[植物育種科学セッション] 演題数：13
09:30～14:15、 S 21 講義室
コーディネータ：貴島 教授

9:30	～	9:45	細胞工学	河西めぐみ	ベチュニアにおけるRNAサイレンシングの誘導機構に関する研究
9:45	～	10:00	細胞工学	竹田野土香	ウイルス感染がタバコレトロウイルスの転写と転移に及ぼす影響
10:00	～	10:15	細胞工学	吉田直人	ニンニク感染ウイルスの系統進化的解析とウイルスフリー化の改良
10:15	～	10:30	植物病理学	比佐雄亮	シロクローバモザイクウイルスの病原性に対するクローバ葉脈黄化ウイルスP3遺伝子産物の影響
10:30	～	10:45	植物病理学	山本 温子	テヌイウイルスのサイレンシングサプレッサーがイネの遺伝子発現に与える影響の評価
10:45	～	11:00	植物遺伝資源学	島井 綾子	ダイズ種子におけるフラボノイド蓄積メカニズムに関する分子遺伝学的研究
11:00	～	11:15	植物遺伝資源学	森 芳広	ダイズのmiRNAを利用した種子貯蔵タンパク質成分の改変
11:15	～	11:30	遺伝子制御学	織田祐二	ホウレンソウ性決定遺伝子座の構造解析
11:30	～	11:45	遺伝子制御学	倉田昌幸	遺伝子工学的手法によるテンサイ細胞質雄性不稔性の花粉稔性回復に関する研究
11:45	～	12:00	遺伝子制御学	勝山嵩也	テンサイ花粉稔性回復遺伝子 <i>RRI</i> の分子進化的研究
13:30	～	13:45	植物育種学	大島健人	イネ小穂の形態形成に関する遺伝解析
13:45	～	14:00	植物育種学	太田雄也	多数のイネ雑種系統を用いた新規育種学的アプローチ — 種子発芽形質の評価と早生出穂性遺伝子座の抽出 —
14:00	～	14:15	植物育種学	夏目知子	トランスポゾンTam3低温依存性転移機構に関わるキンギョソウ遺伝子T3IF5およびT3IF6の機能解析—転移と宿主遺伝子の発現に着目して—

[生物生態・体系学セッション] 演題数：6
10:00～12:00、 N 31 講義室
コーディネータ：大原 教授

10:00	～	10:20	動物生態学	大崎一史	不活発なワーカーはなぜ生まれるのか？行動的要因としての「疲れやすさ」と「移動速度」のシミュレーションモデルによる検証
10:20	～	10:40	昆虫体系学	末長晴輝	日本産カミナリハムシ属の分類学的再検討
10:40	～	11:00	昆虫体系学	池田慎一郎	サラグモ雄触肢骨化部の相同性および系統的重要性の検討
11:00	～	11:20	昆虫体系学	山岸彩郁	カモメ類に寄生するハジラミ2属の極端に異なる宿主範囲
11:20	～	11:40	植物生態学	鳥居太良	北海道の砂質海岸における海岸植生の植生構造と成立要因の解明
11:40	～	12:00	植物生態学	村松弘規	北海道の低地湿原におけるエゾシカ (<i>Cervus nippon yezoensis</i>) の空間分布と植生への影響

[応用分子生物学セッション] 演題数：7
10:00～12:00、 N 21 講義室
コーディネータ：伴戸 教授

10:00	～	10:15	応用分子昆虫学	小池遼	ネッタイシマカ アミノペプチデースNの遺伝子解析およびCryトキシンレセプター分子としての機能解析
10:15	～	10:30	応用分子昆虫学	石垣俊一郎	Cry39Aaトキシンのハマダラカ特異的殺虫作用機構解明とレセプター解析
10:30	～	10:45	応用分子昆虫学	川上広太	北海道奥尻町にて採集した <i>Aedes</i> 類蚊幼虫より分離した新規植物ウイルス様ウイルスに関する研究
10:45	～	11:00	分子生物学	小山博彰	植物mRNAにおける上流ORFの関与する翻訳制御機構の解析
					休憩 (10:20～10:30)
11:15	～	11:30	分子酵素学	青山 泰	<i>Bacillus</i> sp. KM13由来Isomaltotoligosaccharide 6- α -glucosyltransferaseの長鎖基質結合に関与する構造の解析と変異酵素を用いたイソマルトメカロ糖合成に関する研究
11:30	～	11:45	分子酵素学	平内 亨	アノマー反転型トレハラーゼの活性欠失変異体による新規二糖合成反応に関する研究
11:45	～	12:00	分子酵素学	佐藤 恵美	変異導入による <i>Aspergillus niger</i> 由来 α -glucosidaseの特異性改変に関する研究

〔有機化学セッション〕 演題数：8

09:00～11:50、 N 11 講義室

コーディネータ：橋床 教授

9:00	～ 9:20	木質生命化学	今村 龍太郎	Tautomycetinの合成研究
9:20	～ 9:40	木質生命化学	新藤 千波耶	モノノカレバタケ属菌糸体培養物からのオートファジー誘導物質の探索
9:40	～ 10:00	木質生命化学	春原 和宏	ミコフェノール酸6'位新規誘導体のIMPDH並びにHDAC阻害活性
10:00	～ 10:20	生物有機化学	塚原 美宙	新規な低分子化合物結合タンパク質同定法の開発
10:20	～ 10:40	生物有機化学	松原 卓也	ジャスモン酸メチルの植物移行性及び代謝に関する有機化学的研究
10:40	～ 10:50			休憩
10:50	～ 11:10	生態化学生物学	大井 辰哉	中心子目に含まれる含窒素色素ベタレインの活性窒素種ペルオキシナイトライト消去メカニズム解明を目指した化学的研究 ―ベタレインモデル化合物の ペルオキシナイトライト処理分解物の解析から―
11:10	～ 11:30	生態化学生物学	櫻井 宗矩	味覚受容体解析を指向した新規光反応性diazirine含有aspartameおよびsalicinの合成
11:30	～ 11:50	生態化学生物学	守 次朗	牛糞堆肥の高温発酵過程に活動する主要好熱性メタン生成古細菌群の探索とメタン生成に関わる <i>mcr</i> 遺伝子の解析

〔森林・緑地管理セッション〕 演題数：15

12:25～18:05、 W 109

コーディネータ：笠井 准教授

12:25	～ 12:30		講座主任	開会の辞
12:30	～ 12:50	森林生態系管理学	小南 遼	瀬戸内における野生ツツジ景観再生事業の総合的評価
12:50	～ 13:10	森林生態系管理学	伊藤弘樹	北海道十勝川における魚類相の特徴―特に水温変動および湧水に着目して―
13:10	～ 13:30	森林生態系管理学	豊島悠哉	木材生産と鳥類多様性保全は両立できるか?―鳥類分布モデルと林業シナリオを用いた地域スケールでの検証―
13:30	～ 13:50	森林生態系管理学	中島夕里	札幌市街地における鳥類分布と将来予測―NDVIを用いて―
13:50	～ 14:10	森林生態系管理学	濱本 菜央	刈り取りと火入れ植栽が野生ツツジ類の花芽形成と開花景観に与える影響
14:10	～ 14:30	流域砂防学	飯田あゆ美	泥炭地小河川での流路変動に及ぼす合流の影響―雨龍研究林泥川蛇行地帯の事例―
				休憩(14:30～14:45)
14:45	～ 15:05	流域砂防学	五十嵐和秀	山地溪流における床固工の間隔と複断面の形状が土砂流出量に及ぼす影響
15:05	～ 15:25	流域砂防学	大野義直	ニュージーランド・ルアペフ火山山麓におけるラハール堆積物を起源とする砂堆の移動
15:25	～ 15:45	流域砂防学	佐野千尋	火山体の斜面浸食における火山礫の影響に関する研究
15:45	～ 16:05	森林政策学	浜本 拓也	森林・林業再生プラン下での市町村森林整備計画策定の実態―北海道の市町村を事例として―
16:05	～ 16:25	森林政策学	平野あゆみ	北海道における准フォレスターの活動実態―市町村森林整備計画策定支援を中心として―
				休憩(16:25～16:40)
16:40	～ 17:00	花卉・緑地計画学	大場 一樹	知床五湖の利用規制導入における検討過程と利用者の意識
17:00	～ 17:20	花卉・緑地計画学	横濱紫穂	緑化用在来植物としてのピロードスゲの種子発芽
17:20	～ 17:40	花卉・緑地計画学	木下 祐介	海浜地域の植生回復材料としてのコウボウシバの種子発芽
17:40	～ 18:00	花卉・緑地計画学	大沼弘樹	リシリヒナゲシと栽培ヒナゲシの種子発芽特性、生育特性などの比較ならびに交雑の可能性
18:00	～ 18:05		次期講座主任	閉会の辞

平成24年度修士論文発表会プログラム

2月14日

〔森林資源科学セッション〕 演題数：14

08:55～15:05、 W 109

コーディネータ：笠井 准教授

8:55	～	9:00	講座主任	開会の辞
9:00	～	9:20	木材工学	隅 猛司
9:20	～	9:40	森林化学	麻生知裕
9:40	～	10:00	木材工学	小出智也
10:00	～	10:20	森林資源生物学	荒井洋樹
10:20	～	10:40	木質構造学	細谷信二
休憩(10:40～10:55)				
10:55	～	11:15	造林学	稲田直輝
11:15	～	11:35	木質構造学	富高亮介
11:35	～	11:55	造林学	伊藤寛剛
昼食(11:55～13:00)				
13:00	～	13:20	木材工学	原田 蘭
13:20	～	13:40	造林学	川口光倫
13:40	～	14:00	木質構造学	原田崇志
14:00	～	14:20	森林化学	川口 新
14:20	～	14:40	造林学	龍田慎平
14:40	～	15:00	造林学	小島沙織
15:00	～	15:05	次期講座主任	閉会の辞